

令和4年度 園評価書

園番号 50

園名 西久保こども園

I 経営の重点に関わること

評価段階 (A:よくできている B:概ねできている、C:あまりできていない、D:できていない)

1 教育・保育目標	2 重点目標	評価指標	園説明	自己評価	関係者評価	園関係者評価委員から	改善策(来年度の具体的な取組目標等)
心豊かなたくましい子	"もっとおもしろく"をつなげよう	色々なことに興味をもち、自分から積極的にかかわり夢中になって遊んでいる	自ら好きな遊びを選んで、試したり工夫したりして遊ぼうとする子もいるが、「〇〇していい？」と確認を求め、積極的に遊びに関わり夢中になって遊べない子もいる。保育者は子どもの表れから、育んでいきたいことを体験できるように配慮している	B	A	・園庭で遊んでいる子ども達のそばに行ったら、以前来園したことを覚えていて、話しかけてくれる子がたくさんいた。元気で活発、人なつっこい子が多く感じた ・元気に笑顔で遊んでいる子が多く感じた。サーキットを作ってキックバイクでチャレンジしている子がいて、家庭ではなかなかできない、園でしかできない事だと感じた	・保育者が一人一人丁寧に応答のなかかわりを行い認めることで、子どもが安心して自分の思いを伝えることができるようにする ・子どもの発達を押しえながら表れを見取り、その子に合った遊びのヒントを伝えたりしかけたりしていく ・とつき欄の活用の仕方を見直し、遊びの続きを取っておき、次の日に続きをやりたくなるような場所にする ・子ども達の表れから、明日どのような環境構成にするのか短いスタンスで再構成をしていく
		自分の思いや感じたことを言葉や行動で表現している	自分の思いを言葉や態度で表現できる子は多いが、中には言葉の使い方が悪かったり、言葉が足りなかったり、望ましくない行動で表現する子もいる。保育者が仲立ちとなって相手の気持ちを代弁し、相手の思いに気付けるように関わっている	B	A	・先生たちも子ども達のために、環境を整えていて、よくやっているとと思う。水を作って観察する準備、子ども達への動機づけをちゃんとやっていると感じた	
		友だちの良さを認めながら一緒に考えたり試したりして遊びを楽しんでいる	友達の良いところを認めながら一緒に遊ぶ子もいる。保育者は工夫して遊べる素材を用意したり、自分で考えて行動できるように環境を可視化したり、見守ったり、声かけなどの関わりを意識しているが、子ども自身が考えて遊びを広げたり、深めていく姿は少ない	B	A		

II 各領域に関わること

大項目	中項目	評価指標	園説明	自己評価	関係者評価	園関係者評価委員から	改善策(来年度の具体的な取組目標等)
1 こども園における教育及び保育	(1)0歳から小学校就学前までの一貫した教育及び保育	各学年目標を理解し、子どもが様々な人、もの、事にかかわる保育を進めている	学年目標を基に、クラス内では話し合い保育を進めている。P D C Aサイクル(表れの読み取り、保育者の願いの具体化)を効率的かつ具体的に考え実践することで、より主体的に子どもがヒト・モノ・コトに関わる姿が増えてくるようにしている	B	A	・今年度取り組んだことの報告を聞く限りでは、昨年度より良い方向に進んでいると思う。自己評価はもっと高くてもいいのではないかと思う	・子ども一人ひとりの成長を職員間で共有し、連携をとる ・会議に参加していない職員への伝達を確実に行う
		(2)一日の生活の連続性及びリズムの多様性への配慮	ひとり一人の生活リズムを大切にしながら安定した気持ちで過ごせるよう工夫している	A	A	・自己評価が低めになっているのは、保育者自身の理想が高くなっているのかな、と感じる。もっと自信をもって、控えめな評価になる事はないと感じる	・引き続き子どもの発達と個々の状況に合った生活を保障をしていく ・園での子どもの様子を保護者に伝え、子育てを共にしていく協体制を作っていく
		(3)環境を通して行う教育及び保育	わくわく感をもち「もっとおもしろく」がつながるような環境づくりをしている	保育者は構想会議等で子どもが興味、関心のある遊びを見取り、子どもが主体的に遊ぶことのできる環境構成を考えている。しかし、すぐに実行する力が弱く、遊びが広がっていく段階までいかない。「もっとおもしろく」につながる環境作りは引き続き学んでいく必要がある	B	A	・園としての課題にあがっていることで、保育者が自分レベルで改善できることは、意識改革していく必要があると思う(指示がないとどうしていいかわからない、どこまで手を出していいのかわからない等)
2 安全管理・指導	(1)事故防止・防災	避難訓練、不審者訓練などの訓練を通して非常時における動きが身についている	様々な場面(予告なしの訓練含む)を想定した訓練を行っている。また、消防、警察の協力の下、体験型の訓練も行った。訓練後は反省点や改善点を話し合い、園全体で共有している。園児は毎月訓練を行うことで、ヘルメットのかぶり方、訓練の仕方についてきており、保育者の指示を聞き行動できるようになってきた	A	A		・ヒヤリハットの事例を周知するだけでなく、安全対策まで職員で意見を出し、共有できるようにしていく
		(1)健康教育の充実	コロナをはじめ様々な感染症予防が身についている	コロナ禍の洗手洗い、うがいの大切さを子どもたちに伝えることで、登園後、食事の前、排泄後等の習慣が身についている。保育者はバージョンの準備、玩具、子どもが触るところの消毒を実施し、子どもの体調の変化に配慮し、家庭にも呼びかけ感染予防に努めた	B	A	
3 保健管理・指導	(1)健康教育の充実	個別の支援計画に基づき、その児の好きなこと、得意なことを活かして保育をしている	サポートプランを立て一人一人に合った関わり方を考え、支援を必要とする園児の「楽しい」を見つけ保育に活かしている。今後は楽しいことが得意なことに繋がるようなプランを立てたり、分掌を中心とした会議や園内研修を行うようにしていきたい	B	B	・保護者アンケートより「家庭との連携を大事にしているか」「職員は連携をとりながら、教育・保育を行っているか」の評価の部分については真摯に受け止めることが必要だと思う	・特別支援会議、特別支援の会の年間計画を立て実行する ・会議では子どもの姿や支援方法を検討し、気になる子への支援方法を園全体で周知する
		(1)組織体制の充実	各分掌が役割に責任をもち、組織として協力し合いながら運営をすすめている	分掌の仕事にそれぞれ責任をもって取り組み、話し合いをして協力しながら運営している。しかし、話し合いの時間の確保や、全体での話し合い、共有の面で課題がある。全職員が組織の一員としての役割を意識できるようにすることが課題である	B	B	・コロナ禍で園内には入れないことから、園の様子が変わらず不安に感じている保護者もいる。先生たちともっと仲良くなりたい、気軽に話がしたいと思っている保護者も多い
4 特別支援教育・保育	(1)支援体制づくりの推進	子どもの興味・関心をさぐり遊び込める環境(時間、業、教材)を工夫している	子どもが興味、関心をもったことで遊び込めるように、時間、環境を十分にとる等の工夫をしている。しかし子どもが新しいことに興味を持った時、関心が薄れる前にスピード感をもって再構成を行うことに苦手意識のある保育者が多い	B	A	・送迎が玄関までなので、子どものことを訪ねた時にすぐにわからないと、担任じゃないとわからないの?と思ってしまう。	・子ども行動を待ったり、子ども自身が試行錯誤できるような関わったり、子どもの遊びの様子から次の日に向けて、スピード感をもって環境の再構成をしていく
		(1)研修体制の充実	研修テーマ「もっと遊びたい」環境作り」において子どもがわくわくする実践を行っている	公開保育は計画通りに進められ、パートを含む全職員から意見を出してもらっている。園内研修や会議の場で遊び環境について話し合い、子どもの発達や興味に合わせてクラスの室内環境を整えているが、その後改善してどう変わっていったのか振り返る機会を設ける必要がある	B	B	・職員の連携という部分では、会議の内容を周知する発信するやり方を園で考えて進めるといと思う。職員が同じ方向を向いていないと、連携をとるのは難しいことだと思う
5 組織運営	(1)組織体制の充実	園だより、クラスだより、掲示板などで保護者にわかりやすく内容を発信し、子どもの育ちを共有している	お便りやわくわくボードで子どもの育ちや保育者の願いを意識して書いたり、写真を活用して活動の様子を可視化することで保護者にわかりやすく内容を発信できた。また、希望者に個別面談を行ったことでより子どもの育ちを共有できた	B	B	・保護者や地域に向けて、写真の掲示(わくわくボード)やクラスだよりに写真を載せていることに関して、先生たちがとても努力していると感じている。すばらしいことだと思う。玄関先での送迎はクラス担任がやって、一言だけでも言葉で伝えたらどうだろう	・小学校との交流や近隣園との交流を調整し、関係づくりを進めていく
		(1)近隣の園との連携の推進	近隣の小学校へ足を運び、園の情報を掲示してもらったり、校庭を散歩したりして学校との繋がりをもつ	少しではあるが小学校へ足を運び、校庭で遊ぶ経験をし、小学校を実際に目で見て感じる機会を作った。また近隣園、小学校に自園の公開保育の案内を送ったり、他園の公開保育に参加している	B	A	
6 研 修	(1)研修体制の充実	子どもの興味・関心をさぐり遊び込める環境(時間、業、教材)を工夫している	子どもが興味、関心をもったことで遊び込めるように、時間、環境を十分にとる等の工夫をしている。しかし子どもが新しいことに興味を持った時、関心が薄れる前にスピード感をもって再構成を行うことに苦手意識のある保育者が多い	B	A		
		(1)教育・保育環境の充実	子どもの興味・関心をさぐり遊び込める環境(時間、業、教材)を工夫している	子どもが興味、関心をもったことで遊び込めるように、時間、環境を十分にとる等の工夫をしている。しかし子どもが新しいことに興味を持った時、関心が薄れる前にスピード感をもって再構成を行うことに苦手意識のある保育者が多い	B	A	
7 教育・保育環境整備	(1)教育・保育環境の充実	園だより、クラスだより、掲示板などで保護者にわかりやすく内容を発信し、子どもの育ちを共有している	お便りやわくわくボードで子どもの育ちや保育者の願いを意識して書いたり、写真を活用して活動の様子を可視化することで保護者にわかりやすく内容を発信できた。また、希望者に個別面談を行ったことでより子どもの育ちを共有できた	B	B		
		(1)家庭教育への支援機能の充実	園だより、クラスだより、掲示板などで保護者にわかりやすく内容を発信し、子どもの育ちを共有している	お便りやわくわくボードで子どもの育ちや保育者の願いを意識して書いたり、写真を活用して活動の様子を可視化することで保護者にわかりやすく内容を発信できた。また、希望者に個別面談を行ったことでより子どもの育ちを共有できた	B	B	
8 家庭との連携・協力	(1)家庭教育への支援機能の充実	園だより、クラスだより、掲示板などで保護者にわかりやすく内容を発信し、子どもの育ちを共有している	お便りやわくわくボードで子どもの育ちや保育者の願いを意識して書いたり、写真を活用して活動の様子を可視化することで保護者にわかりやすく内容を発信できた。また、希望者に個別面談を行ったことでより子どもの育ちを共有できた	B	B		
		(1)近隣の園との連携の推進	近隣の小学校へ足を運び、園の情報を掲示してもらったり、校庭を散歩したりして学校との繋がりをもつ	少しではあるが小学校へ足を運び、校庭で遊ぶ経験をし、小学校を実際に目で見て感じる機会を作った。また近隣園、小学校に自園の公開保育の案内を送ったり、他園の公開保育に参加している	B	A	
9 近隣の学校との連携	(1)近隣の園との連携の推進	園の情報を公民館や交流館などに掲示し園のことを知らせたり、地域の行事へ参加している	ホームページ、月の園だよりの発信をしている。また、園庭開放、園見学者の受け入れ、秋葉山公園にて出前保育、おしゃべりサロン、子育てトークを実施している	B	A		
		(1)信頼される園づくりの推進	園の情報を公民館や交流館などに掲示し園のことを知らせたり、地域の行事へ参加している	ホームページ、月の園だよりの発信をしている。また、園庭開放、園見学者の受け入れ、秋葉山公園にて出前保育、おしゃべりサロン、子育てトークを実施している	B	A	
10 地域との連携	(1)信頼される園づくりの推進	園の情報を公民館や交流館などに掲示し園のことを知らせたり、地域の行事へ参加している	ホームページ、月の園だよりの発信をしている。また、園庭開放、園見学者の受け入れ、秋葉山公園にて出前保育、おしゃべりサロン、子育てトークを実施している	B	A		
		(1)近隣の園との連携の推進	近隣の小学校へ足を運び、園の情報を掲示してもらったり、校庭を散歩したりして学校との繋がりをもつ	少しではあるが小学校へ足を運び、校庭で遊ぶ経験をし、小学校を実際に目で見て感じる機会を作った。また近隣園、小学校に自園の公開保育の案内を送ったり、他園の公開保育に参加している	B	A	